

## 前中期経営計画「ALL for the Region」(2019/4~2022/3)の振り返り

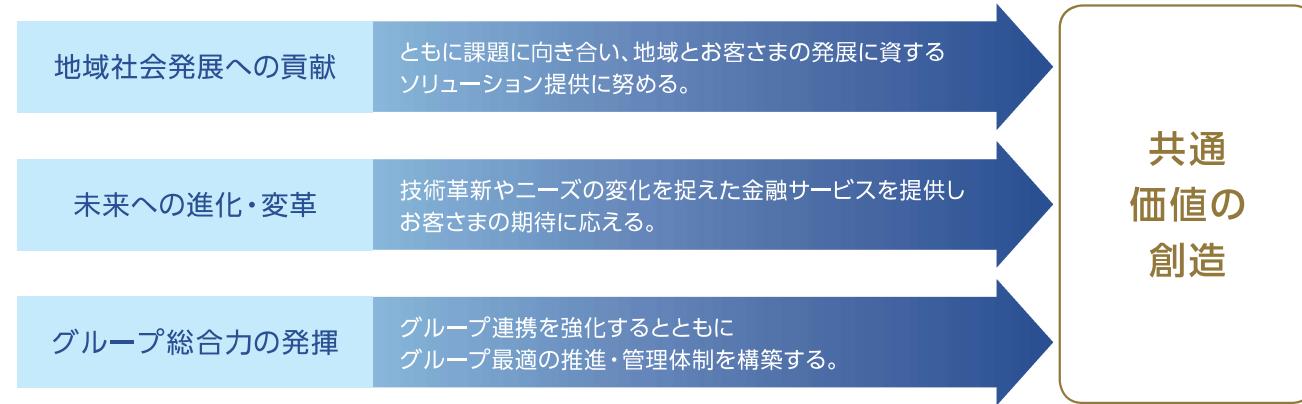
当社グループは、2019年度からの3年間を計画期間とする中期経営計画『ALL for the Region』に取組んでまいりました。本計画においては、「地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、共通価値を創造し、地域とともに成長・発展する総合金融グループ」となるべく、「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービス」と、「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化し、持続的に地域に貢献する体制構築を進めました。

### 前中期経営計画「ALL for the Region」(2019年4月～2022年3月)

#### ■ 目指す姿

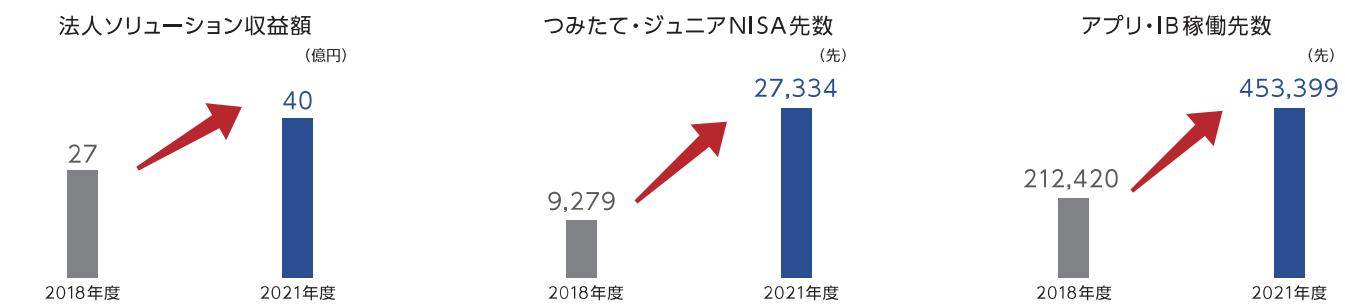
地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、共通価値を創造し、地域とともに成長・発展する総合金融グループ

#### ■ 基本方針



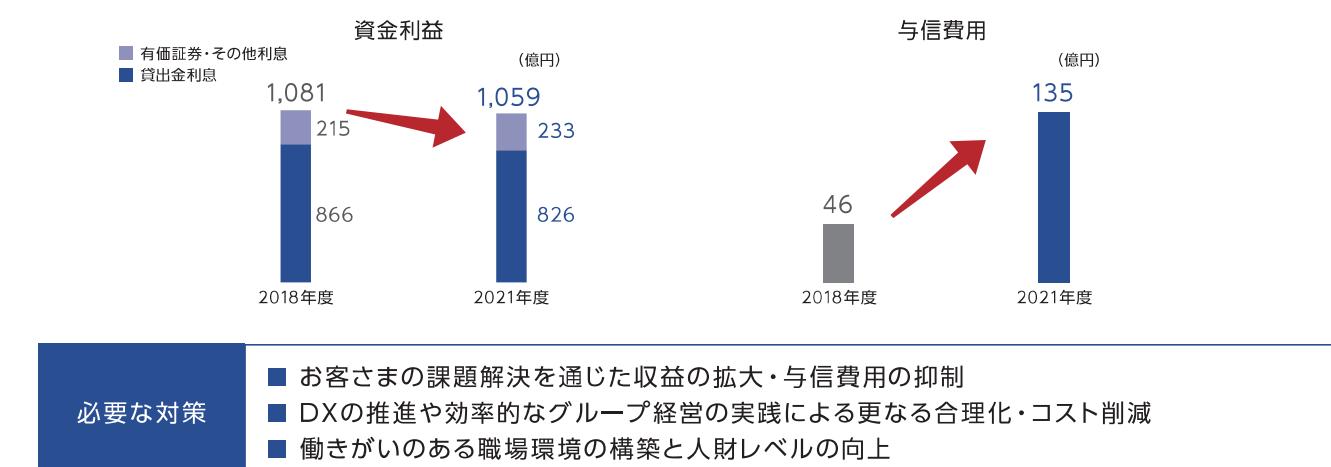
## 前中期経営計画の成果・取組み

法人戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンサルティング機能の強化</li> <li>コロナ関連融資の取組み</li> </ul>	個人戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>資産形成・運用支援</li> <li>住宅ローンのシェア拡大</li> </ul>
デジタル化 Fintech戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリ・IBの機能性向上</li> <li>地域のキャッシュレス化推進</li> </ul>	地域社会活性化戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESG・SDGへの対応</li> <li>地域創生への取組み</li> </ul>
業務改革 店舗最適化	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の電子化・自動化</li> <li>店舗体制の見直し</li> </ul>	FGグループ戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほくほく連携の取組拡大</li> <li>本部機能のFG集約化</li> </ul>



## 新中期経営計画に向けた課題

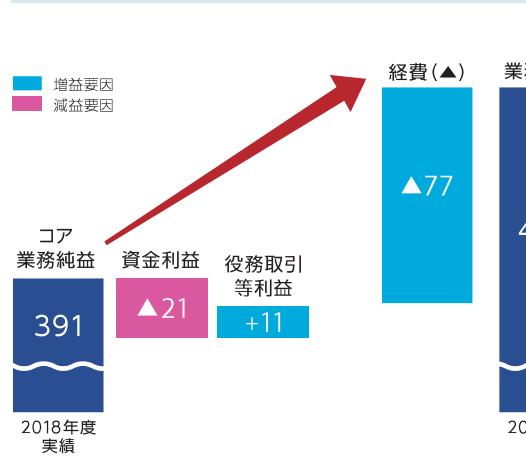
- 低金利環境の影響により、資金利益は減少基調が継続
- 新型コロナウイルスの影響等による取引先企業の業況悪化により、与信費用が増加



- お客さまの課題解決を通じた収益の拡大・与信費用の抑制
- DXの推進や効率的なグループ経営の実践による更なる合理化・コスト削減
- 働きがいのある職場環境の構築と人財レベルの向上

## 計数目標の達成状況

- 長引く低金利環境の影響を受け、貸出金の利回り低下等の要因で資金利益は減少
- ソリューション提供に努めた結果、コンサル関連手数料など役務利益が伸長
- 業務効率化等で経費削減が進む⇒3年間でコア業務純益は69億円の増加
- 新型コロナウイルスの影響等により与信費用が増加



重点指標	2018年度 実績	2021年度 実績	2021年度 目標
本業利益	180億円	277億円	220億円以上
親会社株主に帰属する当期純利益	243億円	205億円	220億円以上
連結自己資本比率	9.09%	9.54%	8%台維持
OHR	68.85%	63.15%	60%台維持

※本業利益・OHRは2行合算

## 第5次中期経営計画

Go forward with Our Region